

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

発表日：令和9年 11月 29日

回収率：70% 下記は回収分である割合で算出

事業者：児童発達支援センターCURE

サービス種別：児童発達支援/放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(現状状況/工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善計画/内容
環境・体制整備	1 利用員に適切な指導研修やスペースの十分な確保	基準以上のスペースを確保しています。指導研修は定期的に、地域連携のプログラムも実施しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない0% わからない0%	今後も活動内容に関して、スペースの使い分けができるようしていきます。
	2 職員の適切な配置	基準の職員に加え、加配の職員も配置しています。職員は全員、有資格者を配置しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない0% わからない0%	今後も現状維持に努めます。新規職員を配置する場合は、しっかりと定着できる、専門性の高きよう努めます。
	3 本人にわかりやすい環境、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた配慮	施設内は全室バリアフリーとしています。トイレや個別相談室は、ロールスクリーンを設置し、お掃除の特性に合った対応方法を取っています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない0% わからない0%	今後も状況に応じた対応方法を取っていきます。
	4 清潔で、心地よい過ごし、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々、清掃や消毒、換気、加湿を適宜行っています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない0% わからない0%	今後も安心して通所頂けるよう、現状維持に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への積極的な参加	日々、朝礼後に打ち合わせの時間を確保しています。非常勤職員に関しては、その方の出勤率に打ち合わせの内容を伝えています。		午前中から利用される方は、退勤前に時間を設定する等、柔軟に対応していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	開所して1年未満の為、実施は出来ていません。		今後、実施できるように検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修は各自メールやFAXでの案内で確認しています。また、外部と連携している書籍読書会から月に1回以上、教材の使用や療育のワークショップを受けています。		今後も必要に応じて研修に参加していきます。連携している書籍読書会からのアドバイスも活用していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメント適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者が記入した相談受付書や、送迎時や面接、電話等で得た経過の状況に加えて、相談員からの計画書から課題を整理し、事業所のコンセプトに沿った計画を作成しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない0% わからない0%	今後の事業所のコンセプトに沿った内容を盛り込んで、計画が作成できるように努めます。
	2 子ども達の状況に応じ、かつ個別活動を集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	事業所のコンセプトに沿った内容で得意差を見ながら計画を作成しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない0% わからない0%	今後も現状維持に努めます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の記載と具体的な支援内容の記載	日々の記録や、保護者からのニーズ、連携している書籍読書会のアドバイス等を基にしながら作成しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない0% わからない0%	今後も現状維持に努めます。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員間で日々、意識しながら課題や活動を設定しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない12% わからない12%	今後も現状維持に努めます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で日々、プログラムを立案、実行しています。		日々、「良い」と思っているプログラムを立案していきますが、今後も必ずコンセプトに沿った内容で実行できるように努めます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	それぞれ、基本的な1日の流れは決まっていますが、その時々によって状況が変化しますので、その都度、臨機応変に対応しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい75% どちらとも言いえない12.5% わからない12.5%	今後も現状維持に努めます。
	7 活動プログラムが固定しないような工夫の実施	継続性を持つ中で成長に繋がるとも思います。同じプログラムでも適対策にしてみる等、動きが異なるようにしています。		今後も現状維持に努めます。
	8 支援開始前における職員間でのその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼後に打ち合わせの時間、送迎前に1日の振り回りの時間を設けて、情報の共有を図っています。		状況によっては1日の振り回りを翌日の朝礼後に持ち越す等、都度臨機応変に対応していきます。
	9 支援終了後における職員間でのその日の振り返りや気づきや良かった点などの情報の共有化	支援終了後は、職員間で気づいた事を中心に振り返りを行い、情報の共有を図っています。非常勤職員に関しては、翌日の出勤時に情報共有しています。		今後も現状維持に努めます。
	10 日々の実践に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日報に沿った記録を残しています。支援終了後の振り返りに、支援の検証や改善の必要性を日々検討しています。		今後も現状維持に努めます。
	11 定型的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者からの情報や有送迎時を中心に行っています。ご希望のある家庭には、家庭訪問も実施し、日々の訪問事項も聞きながら実施しています。		今後も現状維持に努めます。
関係機関との連携	1 子ども達の状況に精通した養育士や保育士による障害児支援事業所のサービス担当者会議への参加	開催時間等、状況によっては児童発達支援に加えて職員も参加できるように、調整しています。		今後も現状維持に努めます。
	2 (国・自治体)が定める子どもや障害児の権利に関する条例やガイドラインの周知	地域の保健、医療、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3 (国・自治体)が定める子どもや障害児の権利に関する条例やガイドラインの周知	子どもの主治医や協力関係機関と連携体制の整備		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小・中・高)等との連携内容の十分な情報共有	学校への送迎時や保護者を通じて、連携内容を図っています。		保護者の意向を伺いつつ、児童の様子も必要に応じて検討していきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、小学校卒業後、職業福祉サービス事業所等に対する十分な情報提供	当事業所の対象児童を小学校3年生までとしている為、該当するケースがありません。		学校卒業して、という訳ではありませんが、他事業所へ移行される児童に関しては、その際に必要に応じて情報提供できるように、検討していきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の促進	外部の書籍読書会と、主に書籍に関する発達支援を実施して頂きながら、連携を図っています。その際に、教材の使用例や、療育のワークショップを受けています。		今後も現状維持に努めます。また、必要に応じてオンラインでの研修にも参加できるように、時間や人員の調整を検討していきます。
	7 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の関係機関との連携や、専門機関での研修の促進	幼稚園、保育園等との交流はありますが、また、外出もコンセプト上、実施していませんので、障がいの無い児童と活動する機会もありません。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない10% わからない10%	保護者からの要望が多い場合は、実施を検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	開所が工場に隣接しているため、近隣に住宅が多いので難しいです。		現状通りとします。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用負担等についての丁寧な説明	支援の内容については見学時に、利用負担については契約時に、理解して頂けるような言葉遣いで説明しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない0% わからない0%	今後も現状維持に努めます。不明点等があった場合は、その都度対応していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の丁寧な説明	コロナ禍といったことあり、時間を短縮して要点だけ説明をしています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない12% わからない12%	コロナが落ち着くまでは現状通りとしますが、必要に応じて時間を作り、丁寧に説明できるように検討していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	希望のある家庭に関しては、家庭訪問を実施し、指導活動を実施しています。また、保護者研修会を開催した際には、書籍読書会からもアドバイスを頂いています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない31% わからない31%	今後も現状維持に努めます。
	4 子ども達の発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡は日々、送迎時に日々の様子をお伝えする中で情報共有しています。また、保護者のある家庭に関しては、家庭訪問を実施して理解を深めています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない10% わからない10%	今後も現状維持に努めます。
	5 保護者から子育ての悩み等に対する相談への適切な対応に必要な助言の実施	送迎時に相談する機会はお話し、対応しています。また、希望のある家庭には、家庭訪問を実施し、書籍読書会からもアドバイスを頂いています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない12.5% わからない12.5%	今後も現状維持に努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	開催していません。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない12.5% わからない12.5%	今後、保護者の要望があれば開催を検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に通知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応体制については、契約時に説明しています。苦情が出た場合、早期に解決できるように職員間で話し合い、対応していきます。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない31% わからない31%	今後も苦情が生じた場合は、早期解決ができるよう努めます。また、職員間で情報を共有し、再発防止にも努めます。
	8 障害のある子どもや保護者からの苦情の迅速かつ適切な対応	苦情には個別で対応する中で、適切な対応ができるよう職員間連携し、事前にその内容を知らせる等の配慮をしています。苦情への迅速な対応、かつ、差別のない対応を心がけています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない6% わからない6%	今後も現状維持に努めます。
	9 定型的な会報等の発行、活動報告や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報等の発行は行っていませんが、月に1回の書籍読書会を通じては、実施日の案内や申込も含めて、ホームページ上の掲載ツール、送迎時に発信しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない10% わからない10%	今後、保護者の要望があれば、インスタグラム等でオンラインで発信する等の発信を検討していきます。書籍読書会については、今後も現状維持に努めます。
	10 個人情報取扱いに関する十分な対応	施設や書類の取扱いは日々実施しています。取扱いに関しては、契約時に書面で同意を得ています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない6% わからない6%	今後も現状維持に努めます。
非常事態への対応	1 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを作成し、事務所内に掲示しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない12.5% わからない12.5%	今後、定期的に事業所や社会の状況に合った内容になっているか見直ししながら、必要に応じて最新版を更新できるように努めます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回以上実施できるように、職員間で計画を立てて訓練を実施しています。	【保護者アンケート】回収率100% はい100% どちらとも言いえない12.5% わからない12.5%	今後も定期的な実施できるように努めます。
	3 虐待を防止するための職員研修等の適切な実施	外部での研修や法人内での研修に適宜参加し、適切な対応を促しています。		全職員が外部や法人内での研修に加えて、オンラインでの研修にも参加できるように、時間や人員調整を検討していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における継続的な対応、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得る上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束が必要なケースが無いが、必要な場合は職員間で検討後、保護者への説明をし、個別支援計画に記載する手順は整えています。		今後、必要なケースが生じた場合は、職員間で検討後、保護者への説明をし、個別支援計画に記載していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	見学時の相談受付時に、アレルギーに関する項目を記載してもらい、把握しています。当事業所が提供しているおやつに関しては、アレルギーの工夫をしています。		現状維持に努めます。既に利用されている児童については、新たなアレルギー項目が無い、定期的に確認が取れるようにしていきます。
	6 ヒヤリング事例等の作成及び事業内容内の共有の徹底	ヒヤリングが発生した場合は、その日のうちに作成し、今後の対策も含めて職員間で情報共有しています。		現状維持に努めます。